

2021年1月14日

各位

会社名 アスカ株式会社
代表者名 代表取締役 片山 義規
(コード: 7227、名証第二部)
問合せ先 常務取締役 片山 義浩
(TEL. 0566-36-7771)

**2020年11月期通期連結業績予想値と実績値との差異、個別業績の前期実績値との差異
並びに2020年11月期剰余金の配当(増配)に関するお知らせ**

2020年9月24日に公表いたしました2020年11月期(2019年12月1日～2020年11月30日)の通期連結業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じたとともに、2020年11月期の個別業績と前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記のとおり2020年11月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたので、あわせてお知らせいたします。なお、剰余金の配当におきましては、2021年2月25日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 2020年11月期連結業績予想値と実績値との差異(2019年12月1日～2020年11月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	24,600	400	420	300	52.54
実績値(B)	24,902	645	616	457	80.17
増減額(B-A)	302	245	196	157	—
増減率(%)	1.2	61.3	46.7	52.6	—
(ご参考) 前期実績(2019年11月期)	32,355	1,510	1,460	1,046	183.35

(差異の理由)

売上高は、自動車部品事業でトヨタ系、三菱系ともに予想に対し生産台数が増加し、制御システム事業で大口件名を含め既存得意先からの受注が増加し、モータースポーツ事業で稼働率が改善したことから、前回発表予想を上回りました。営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、売上高の増加に加え、モータースポーツ事業での経費削減もあり、前回発表予想を上回りました。

2. 2020年11月期個別業績の前期実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A)	26,070	1,027	1,167	819	143.59
実績値 (B)	20,559	583	692	528	92.62
増減額 (B-A)	△5,510	△443	△475	△290	—
増減率 (%)	△21.1	△43.2	△40.7	△35.5	—

(差異の理由)

売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により、自動車部品事業で客先稼働の減少による部品売上上の減少、ロボットシステム事業で自動化設備の国内及び海外件名の受注が減少しました。営業利益、経常利益は、売上高の減少により前期実績を下回りました。当期純利益は、新型コロナウイルス感染症の影響から社員の雇用を守るため、雇用調整助成金を申請し助成金等の収入と休業手当を相殺し「補助金収入」として特別利益に計上しましたが、前期実績を下回りました。

3. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想 (2020年9月24日)	前期実績 (2019年11月期)
基準日	2020年11月30日	同左	2019年11月30日
1株当たり配当金	12円00銭	6円00銭	29円00銭
配当金総額	68百万円	—	165百万円
効力発生日	2021年2月26日	—	2020年2月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

1株当たり配当金 (円)			
基準日	第2四半期	期末	年間
当期実績	4円00銭	12円00銭	16円00銭
前期実績 (2019年11月期)	8円00銭	29円00銭	37円00銭

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題として認識しており、業績に連動した成果配分を安定的に行うことを基本方針としております。本方針に従いまして2020年11月期の配当金を2020年9月24日に公表しました配当予想に対し、1株6円増配し、12円としました。なお、中間配当は、4円でしたので、年間配当は、16円となります。

以上